



滋賀県感染症発生動向調査週報

Shiga Infection Diseases Weekly Report

令和8年 第5週 (1/26~2/1)

令和8年2月5日発行 滋賀県感染症情報センター

【TEL】077-537-7438 【Mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

1. 今週の主な動向

●インフルエンザは、第4週に注意報発令基準に達したため、県内全域に注意報を発令しました。第5週においても定点医療機関からの報告数が大幅に増加しています。学校等欠席者・感染症情報システムでは、B型の報告が大きく増加しています。A型に罹患した人がB型に罹患する可能性もあるため、引き続き、手洗いや定期的な換気など感染対策に注意しましょう。インフルエンザの症状や予防方法など詳しい情報は以下の滋賀県ホームページをご確認ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouthukushi/yakuze/15385.html>

●感染性胃腸炎は、「例年よりも多く」報告されており、特に甲賀保健所管域で大きく増加がみられます。感染性胃腸炎の原因となるノロウイルスは冬期に流行がみられるため、トイレの後や調理前、食事前など手洗いを心がけましょう。

2. 全数把握疾患（今週報告例）

類型	疾患	診断週	保健所(i)	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	5	大津市	80歳代	男	肺結核及び結核性胸膜炎	-	-
	結核	5	大津市	90歳以上	男	結核性胸膜炎	-	-
	結核	5	草津	20歳代	女	無症状病原体保有者	国外	-
	結核	5	甲賀	20歳代	男	肺結核及び結核性膿胸	-	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	大津市	20歳代	男	-	県内	O血清群不明 VT1VT2
五類	アメーバ赤痢	5	草津	40歳代	男	腸管アメーバ症	-	-
	急性脳炎	5	大津市	10歳未満	女	インフルエンザウイルスB	県内	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5	草津	70歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)	-	-
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	5	甲賀	50歳代	男	AIDS	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	草津	60歳代	男	-	県内	ワクチン接種歴 無

報告数:4例

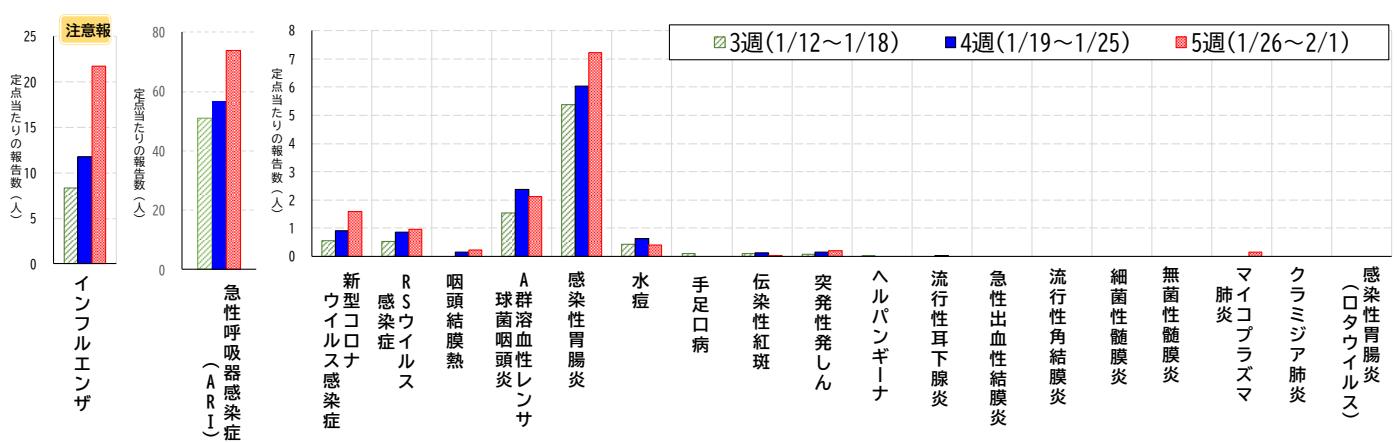
(年齢群 10歳未満:0例, 10歳代:3例, 20歳代:1例, 30歳代:0例, 40歳代:0例, 50歳代:0例, 60歳代:0例, 70歳代:0例, 80歳代:0例, 90歳以上:0例)

(保健所管域 草津:1例, 甲賀:1例, 東近江:1例, 彦根:1例)

※ 百日咳は、報告数が多いことから、報告数合計および保健所管域別、年齢群別の報告数を掲載

i. 発生届が届出された保健所を記載しています。患者住所ではありません。発生届は、全数報告の感染症を診断した医師から管轄保健所へ届出されます。

3. 定点把握疾患（五類感染症）の滋賀県の推移（今週と過去2週）



4. 病原体検出情報

(1) 病原体定点検出情報

(検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は月報・病原体情報に掲載しています。)

- 第2週、第3週採取の検体からRSウイルス(A, B)が検出されています (RSウイルス感染症)。
- 第3週、第4週採取の検体からヒトコロナウイルス(NL63)が検出されています (上気道炎)。
- 第2週、第3週採取の検体からパラインフルエンザウイルス1型が検出されています (上気道炎)。

(2) 定点以外の病原体検出情報

(衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報)

- 特記すべき病原体検出情報はありません。

【資料編】

1. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別 (令和8年および令和7年に報告のあった疾患) ⁱⁱ

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数						全国 (前週)	昨年累積報告数		
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	滋賀県	全国	
二類 結核	○		14 1.00	7 2.03	1 0.28	2 1.44	2 0.90	2 1.32	0 0.00	0 0.00	766 0.62	141 10.10	14480 11.70
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○		2 0.14	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.66	0 0.00	0 0.00	150 0.36	45 3.22	4319 3.49
四類 E型肝炎			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	41 0.36	2 0.14	585 0.47
A型肝炎	○	○	1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.66	0 0.00	0 0.00	7 0.36	0 0.00	133 0.11
コクシジオイデス症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.07	7 0.01
デング熱			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	10 0.01	4 0.29	164 0.13
日本紅斑熱			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.00	2 0.14	674 0.54
ライム病			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.07	18 0.01
レジオネラ症			1 0.07	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	148 0.12	35 2.51	2413 1.95
レプトスピラ症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.00	1 0.07	63 0.05
五類 アメーバ赤痢			1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	23 0.02	4 0.29	449 0.36
カルバペネム耐性腸内細菌感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	65 0.05	5 0.36	1197 0.97
急性脳炎	○	○	1 0.07	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	20 0.02	5 0.36	630 0.51
クリプトスボリジウム症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.00	1 0.07	23 0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病	○	○	1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	10 0.01	3 0.21	184 0.15
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		3 0.21	0 0.00	1 0.28	0 0.00	1 0.45	1 0.66	0 0.00	0 0.00	121 0.10	30 2.15	1382 1.12
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	○		1 0.07	0 0.00	0 0.00	1 0.72	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	50 0.04	8 0.57	866 0.70
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○		2 0.14	0 0.00	2 0.57	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	39 0.03	11 0.79	650 0.53
侵襲性髄膜炎菌感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.00	1 0.07	84 0.07
侵襲性肺炎球菌感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	257 0.21	48 3.44	3391 2.74
水痘(入院例)			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	61 0.05	5 0.36	665 0.54
梅毒	○	○	8 0.57	0 0.00	4 1.13	1 0.72	2 0.90	0 0.00	1 0.70	0 0.00	655 0.53	75 5.37	13530 10.93
播種性クリプトコックス症	○	○	1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.70	0 0.00	11 0.01	4 0.29	178 0.14
パンコマイシン耐性腸球菌感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	6 0.00	4 0.29	92 0.07
百日咳	○	○	27 1.93	2 0.58	16 4.53	4 2.89	4 1.80	1 0.66	0 0.00	0 0.00	862 0.70	803 57.50	89387 72.20
麻しん			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	9 0.01	5 0.36	265 0.21

ii. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。

iii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値^{iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県						保健所別(vii)							基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (v)	例年より 多い (vi)	例年より 非常に 多い(vi)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	全国 (前週)	警報 開始	警報 終息	注意報
急性呼吸器 感染症 (ARI) (定点数:58)	急性呼吸器感染症 (ARI)	51.02	56.86	73.91	-	-	-	69.92	91.31	54.14	71.25	40.00	129.29	19.00	65.15	-	-	-
	インフルエンザ	8.34	11.81	21.72	注	○		29.23	21.38	12.71	15.25	9.00	40.86	14.00	16.64	30	10	10
	新型コロナウイルス 感染症	0.55	0.90	1.59	-		-	1.38	2.62	0.14	1.63	0.71	2.14	2.00	1.99	-	-	-
	RSウイルス感染症	0.51	0.86	0.94	-	○	○	0.25	1.88	0.75	1.40	1.25	0.25	0	0.78	-	-	-
	咽頭結膜熱	0	0.14	0.23		○		0	0.50	0	0	0	0	2.00	0.32	3	1	-
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	1.54	2.37	2.11		○	○	0.63	1.88	2.50	3.00	1.50	5.75	0	2.87	8	4	-
	感染性胃腸炎	5.37	6.03	7.23		○		6.75	5.50	12.25	9.60	6.25	6.75	3.00	8.55	20	12	-
	水痘	0.43	0.63	0.40		○	○	0.88	0.13	0	0.60	0.50	0	0.50	0.42	2	1	1
	手足口病	0.09	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.06	5	2	-
小児科 (定点数:35)	伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.09	0.11	0.03				0.13	0	0	0	0	0	0	0.26	2	1	-
	突発性発しん	0.06	0.14	0.20	-	○		0.13	0.25	0.25	0.20	0	0.50	0	0.24	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0.03	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	6	2	-
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0	0.03	0				0	0	0	0	0	0	0	0.03	6	2	3
	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.45	8	4	-
	細菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.03	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	-	○		0	0	0	1.00	0	0	0	0.37	-	-	-
基幹 (定点数: 7)	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.03	-	-	-
	インフルエンザ入院	2.29	0.86	1.00	-	○		1.00	0	1.00	3.00	0	1.00	1.00	1.35	-	-	-
	COVID-19入院	1.43	1.14	1.29	-		-	0	1.00	0	6.00	0	1.00	1.00	1.61	-	-	-

- iv. 定点把握疾患: 人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- v. 定点当たり報告数が「警報基準値」に達した時に警報(「警」)を発令します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報(「注」)を発令します。
- 警報・注意報のない疾患については、「-」と標記しています。
- vi. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)。
- 新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
- 急性呼吸器感染症(ARI)は、過去5年のデータもなく、昨年のデータもないため、「例年より多い」および「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
- vii. **赤字斜字**: 警報開始基準値以上、**紫字斜字**: 注意報基準値以上

3-1. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

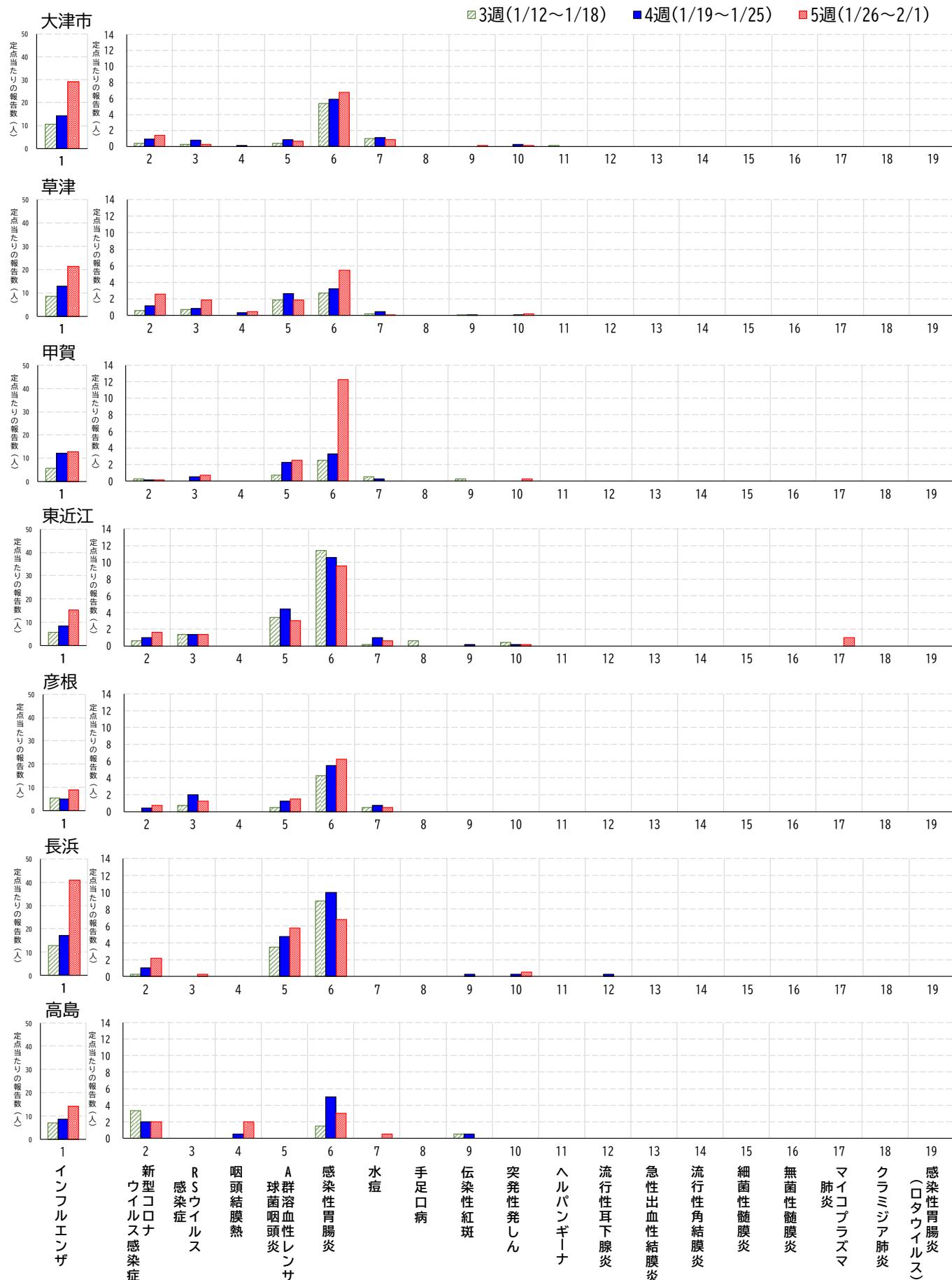
「-」: 報告なし

3-2. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

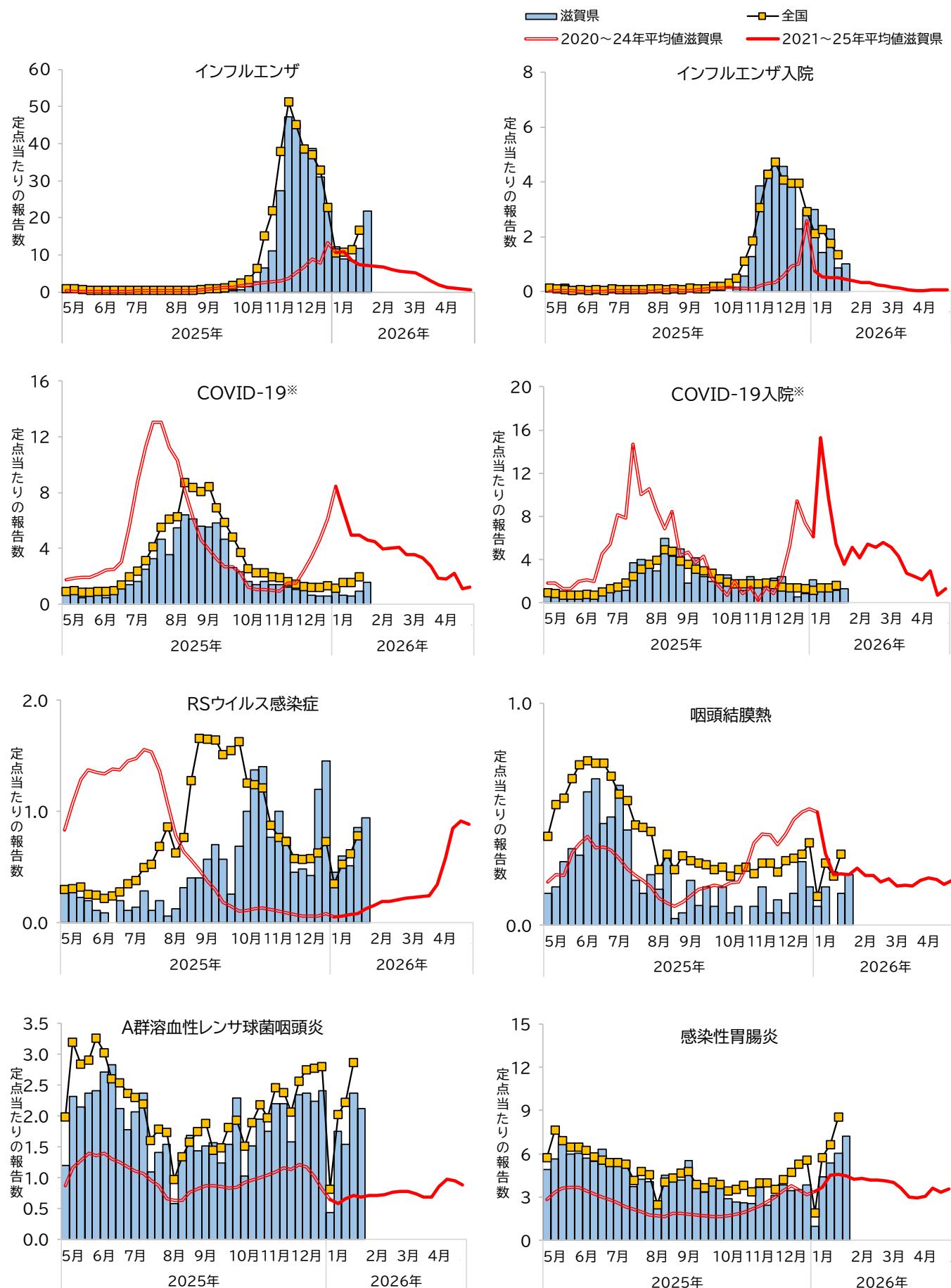
「-」: 報告なし

小児科定点 (35医療機関)	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~					
RSウイルス感染症	33	10	3	12	3	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
咽頭結膜熱	8	1	-	-	1	1	-	1	-	1	-	2	-	-	1					
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	74	-	-	4	10	5	12	8	9	5	10	3	6	-	2					
感染性胃腸炎	253	6	11	30	49	21	15	23	23	4	8	12	32	4	15					
水痘	14	-	-	-	-	-	2	2	-	4	2	1	3	-	-					
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
伝染性紅斑 (リンゴ病)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-					
突発性発しん	7	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
眼科定点 (9医療機関)	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳~			
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ入院	7	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
新型コロナウイルス 感染症入院	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	7	-	

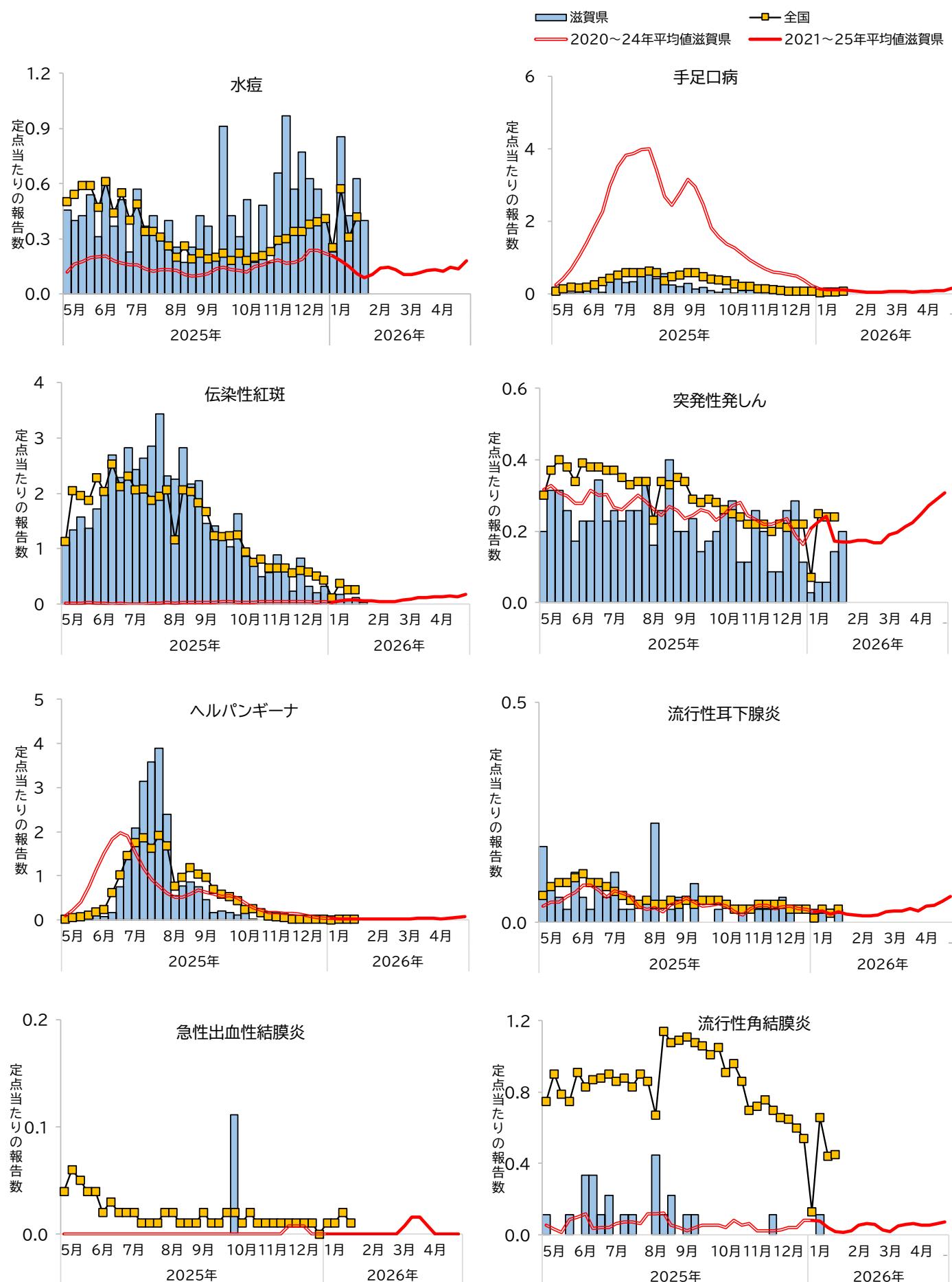
4. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（今週と過去2週）



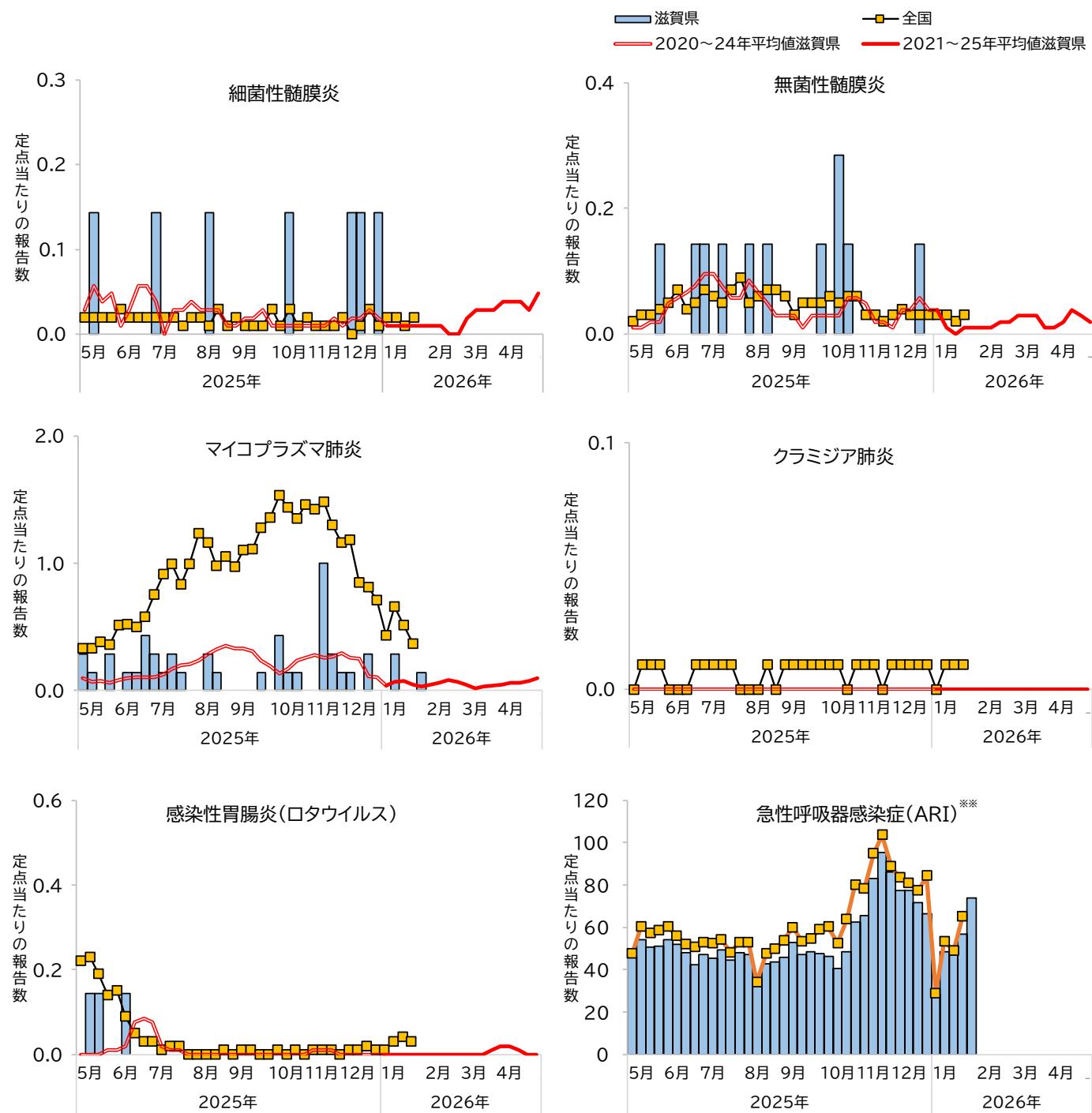
5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



※COVID-19は、過去5年分のデータがないため、『2020年～24年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2024年』の値、『2021年～25年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2025年』の値を掲載しています。

5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

5-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

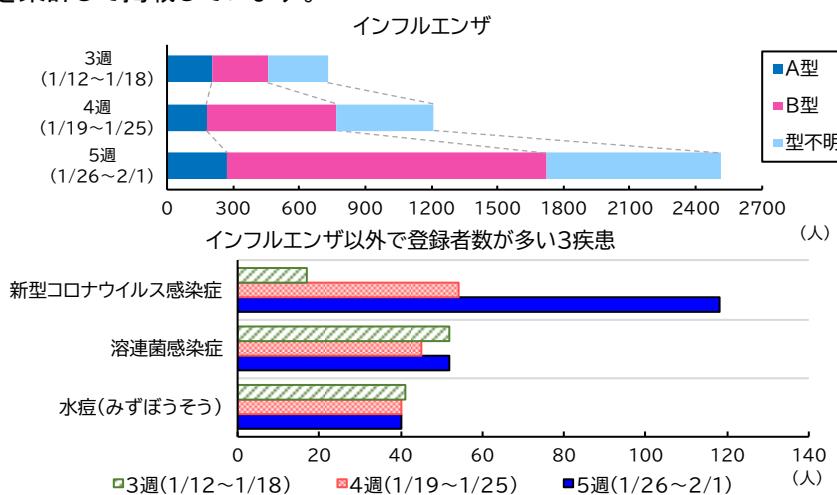


※※急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から報告が始まったため、過去5年のデータ(折れ線グラフ)はありません。

6. 今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム（https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php）へ毎日入力いただいている。

入力いただいたデータを集計して掲載しています。



7. 参考情報

【全国情報】

『感染症発生動向調査 週報(IDWR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

『病原体検出情報(IASR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

『インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/inful/school/infulike.html>

【届出対象疾患・届出基準】

『感染症法に基づく医師の届出のお願い』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekakaku-kansenshou/kekakaku-kansenshou11/01.html

- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。
- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP：<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>



滋賀県 インフルエンザ感染動向 令和8年第5週

